

談話会通信 No. 48

東京蜘蛛談話会



1984年も、残りすくなくはりました。管見、この1年いりがどしたか。その収穫(いろいろ方面での)、ございましたでしょうか。来年は、もうーもうーと、もうとこまごまていきます。来年度の目標をたて、そして、みり多し。もうの1985年にして下さい。この1年ごころうまごした。そして、あつとはやりぞりけど、
「あけまして、おめでとうございませう」

- 新入会員の方々の御紹介
- ・ 須田美代子 〒960-12
福島県、福島市、松川町、浅川字直通
茨寮
- ・ 佐藤 幸生 〒260
千葉県、千葉市、都賀4-12-1
- ・ 小田原城内高校 〒250
生物研究部 小田原市、南町 1-6-34



冬の観察・採集会のお知らせ

2月17日(月)

場所：川崎市 榊形山

集合場所：小田急線 向ヶ丘遊園駅
(遊園地側)

午前10時
雨天決行

休具・お弁当などの用意をお忘れなく。

お問い合わせ
連絡日
松浦まこと
03(392)9962



お便りぞーす!



・横浜の佐藤さんより
 10月14日 柑形山
 すばらしいお天気恵まれて、
 10:00き、かりに出発。高架道路
 の下のフェンスにズグロオ=グモ。
 お寺の塀の外側にユウレイグモ。
 オオヒメグモ。アシナガツモの卵の
 塀の内側にはメガネヤチグモ
 と言うように、おなじみができて
 しました。また、メスジロハエトリの
 すみかを覚えたのも、観察会に
 参加したおかげである。

午前中にかどえたクモの数は、
 7月と比べて少なく、昼食は山
 を越えた下でたべたが、全行程
 ぞ観察したクモの総数は、前回
 とほぼ同じであった。また卵のう
 の数もほぼ同じであった。

松浦氏がゲボウの雄を2
 個体みつけたのが、最高の収穫
 となり、4:15に一同そろって
 写真を撮り、帰途についた。

(採集の様子を報告いた
 だきまして、ありがとうございました
 ました。近藤幸子さんから)

・茨城県の上沢さんより
 きょうは、久しぶりに渋谷にや
 ってきました。約4年ぶりの合同
 別会でした。菅嶋先生や熊田
 氏の相がわらずの顔を見、又、

いつもながら感心する飛良の
 数をうらぎりながら聞いて、
 再び、学生時代の時のような
 新鮮な気分にしたることが
 できました。

4年前、独身貴族として、自由
 活発に活動していた方も、
 ご結婚、又、ご出産、育児などの
 生活におわれて、出席されてい
 るのが、やはり目につき、又、多少
 残念のような気もしたのですが、
 日時、小とした場所ご、観察が
 可能なクモのことごから、
 会合の出欠などは、全く関係
 なく、コツコツと毎日を、積み重
 ねて、すばらしい記録をぜひ、
 残していただきたいとも思いました。

そんなわけで、この私も、子供たち
 も2才と4才に、まもなくなり、
 手がから白くなったのを機に、
 いよいよカムバックしようと決ま
 りました。身近がな所から始め
 ます。今後共、どうぞよろしく。

(茨城県、下館市の
 上沢美子さんから)

・東京の近藤恭子さんからも、
 お便りをいただきました。

近藤さんも、久しぶりに合同
 別会に参加され、クモのふたとの
 すばらしい雰囲気をおかれた
 とうござる。やはり、談話会は
 いいなー……とおもったご
 ござる。

(お入会でガンバッテ下さい)

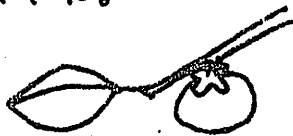
合同例会の報告

井上房枝

例年より少し早めですが、
11月11日(日) AM 10:00 ~ 目黒
区立大橋区民会館にて、合同例
会が開催されました。
参加者は、38名とにいへん
盛会でした。

青木淳一, 阿佐見正起,
池田博明, 石井清, 梅葉氏代
井上房枝, 梅林カ, 大野智子
小沢泉樹, 小野展嗣, 小田原
城内高校生物研究部, 萱嶋泉
熊田憲一, 桑原幸生,
斎藤博一郎, 斎藤博, 佐藤英
佐藤幸生, 佐藤幸子, 篠原圭三郎
新海明, 高橋登, 谷川明男
新島淳子, 西野洋一, 野沢孝二郎
茨田電一, 林俊夫, 古沢笑子
古谷昭憲, 牧寿匡, 松浦祐司
(敬称略)

まず、萱嶋泉氏の開会のあい
さつから初まりました。進行は
松浦祐司氏、司会は熊田憲一氏
が担当されました。司会、進行
の方により3の講演発表が行は
れました。順番が多少異なる
かもしれませんが、次の発表
がありました。



プログラム

午前
1. 池田博明・谷川明男
マレーシアのクモ

2. 篠原圭三郎
集団発生するヤスデの産
加種と群遊に付随出現する種

3. 斎藤博・十国安之輔
キヌガグモ(サラグモ科)
に就いて

4. 高橋登
最近撮れに収蔵の写真

5. 新海明
ウスグモとカタハリウス
グモの幼体とオス成体の網
について

6. 青木淳一
中国の山・食物・動物学者

午後
7. 小田原城内高校生物研究部
クモ研究ことばじめ

8. 浅間氏・佐藤幸生・大野智子
アオアロハシリグモの日
周行動

9. 桑原幸生
ムカデの歌の紹介

10. 新島淳子
キシャヤスデの大発生

11. 林俊夫
Haplodrassus signifer について


12. 佐藤 文
利尻島のカニムシの垂直
分布について

13. 石川 清
日本産コケマスの分類と生活史

この講演発表の中でいくつか
を紹介いたします。池田、谷川両氏
によるマレーシアのクモでは色
彩のすばらしいもの、形の変わり、
たぐいなどを紹介いたしました。
みつけられた時の感動がそのま
ま伝わり、てくるような発表で
した。

青木 孝一氏は中国へ行かれた
時、撮ったスライドをみせて下
さいました。万里の長城など広
々としている中国また、量の豊
富な中国料理を紹介されまし
た。小田原城内高校の6名がそれ
を代表しました。クモの生活よ
うと口と口をやっていられるよ
うです。また、根気よく観察し
て、また発表して下さい。バ
ラエティニ豊んでいて、興味
深い発表でした。

深間 佐藤 大野氏は徹夜の
観察をそれやれのとめ方で発
表しました。発表の後、簡単な
ビールパーティを行ない、おい
しい食べ物を前にして、大変話
がはずみしました。みじくも是
非御参加下さい。合同例会を開
催するに当たり、運営委員の方々
に御協力下さいました。本
簡易ではありますが、合同例
会の報告とさせていただきます。

 会計だより
会費徴収報告 (昭和36年)

(57年度)
笠原 須磨生, 石山 欽幸, 築地 満生
石野 田辰夫

(58年度)
大熊 十代子, 笠原 須磨生, 石山 欽幸
西川 喜朗, 築地 満生, 石野 田辰夫

(59年度)
新海 明, 大熊 十代子, 笠原 須磨生
小田 原城内高校生物研習部, 牧 秀 匡
石山 欽幸, 須田 菜代子, 佐藤 孝一
西川 喜朗, 築地 満生, 石野 田辰夫

(60年度)
阿 佐 見 正 起

(御寄付)

| | |
|-------------|-------|
| 笠原 須磨生様 | 600円 |
| 10月採集会参加者反志 | 2200円 |
| 松本 誠治様 | 400円 |
| 新海 栄一様 | 300円 |
| 松浦 祐司様 | 500円 |

口座番号
横浜 0-1460

なお、会計についての御意見
御質問は
〒226
横浜市緑区池辺町2947
井上 房枝
TEL 045(931)3121

氏名 佐藤幸子

近況をお書き下さい。

家の裏の川(河内川?) 小川を
(工務社)と云う名前が... 又、有る
川は、今どの何者かかわりませ

川深さ

近況をお書き下さい。

お世話です。毎日、夕
出るばかりです。お返し。

元気なやんありうあ。

氏名 菅崎 泉

近況をお書き下さい。

最近若い人が多くなり
ました。これいふことでは
りません。

斎藤 博二

相交わす可小なる蜘蛛
について少しづつ調べてあり
ます。

大野 智子

近況をお書き下さい。

当日の学集甲の... 非常に進められたこと... 深く御礼申し上げます。
合同学会に出席するのは... 初めは...
と云う風にしております。

氏名 斎藤 慎一郎

近況をお書き下さい。

。仕事に追われています。... としげふ...
。私の住む大和市の、大和川水源地区で、
オオムシクサマシをみつめました。細々と
調査に抗して生かすこと可! ウレシ!

池田 博明

近況をお書き下さい。

生物部に入会した。例年は
時節を数分いただいた。生徒に発表
させたかと思いつ。

演題「ワニ研究の歴史」

前略

寒い朝もあり、冬の北風が屋外今日の
晩ですが、如何お過ごしでしょうか

11日の例会の準備等 お忙しいことと
存じます。先日、谷川明里さんと会いまし
たが、「マレーシアクモ」について例

会に二人でスライド発表しようかとい
う話になりました。二人で一題とい
うことで、もし時間があるが、用意
しておきたいと思いつ。

講演でなく、
アトクシヤンが扱いてもいいかもしら
せん。プログラムに入りたいですら。
止めたか。4日に検討するかしたいと
思いつ。御返下す。

1984. 11. 2.

池田 博明

・おねがい

さる10月15日、談話会会員でおられた高野伸二氏が
逝去されました。謹び哀悼の志を表します。

このたび、一昨年の5月16日に逝去された、小松敏宏氏と
として、高野伸二氏への追悼文を、KISHIDAIAに
掲載することになりました。

故小松氏、並びに故高野氏への追悼文は、

1985年1月31日までに KISHIDAIA 編集あて
におくり下さい。(400字原稿用紙3枚まで)

・事務局より

Kishidaia, 通信の原稿
をお待ちしております。

・会計より

会費の納入は、おはやめに
おねがいします。

・事務局：〒167

杉並区、荻窪 3-7-2-512

松浦祐司 03-392-9962

・編集：〒357

飯能市、本町 5-4

嶋田順一 04297-3-3022

・通信編集：〒343-01

北葛飾郡 松伏町 松伏 3385

鈴木勝浩 0489-91-2984

・月記としては、アゾモ・アオビ
ハエトリ・ウツキコモリグモなどが
徘徊しているのがみられます。

また、ウツグモの卵のなどのまわり
にあるカビはのあつまりを、おいて
みると、初ハエトリ・アミジロハエトリ・
ムナサカフクログモ・ネコグモなどの
姿をよこめることが出来ます。

おは、それぞれに工夫して、冬越
しにいらはうけしめいのようです。

今回、勝手に、みおしの近況
をのせせていたできました。
勝手にのせられたとお怒りの方も
あるかとおいいますが、お許し下さい。
御意見を、おまちしております。

談話会通信 No. 48

発行：東京蜘蛛談話会

編集：鈴木勝浩

協力：熊田憲一、井上房俊

昭和59年12月25日発行